

ISACA認定試験受験者ガイド



目次

受験者ガイド概要	1
セクションI - はじめに	2
1.1 - ISACAの概要と倫理規範	2
1.2 - ISACA認定プログラムの概要	4
セクションII - 試験の登録と予約	6
2.1 - 登録する前に	6
2.2 - 試験に登録する	6
2.3 - 受験予約	9
セクションIII - 試験準備	10
3.1 - 試験の準備をする	10
3.2 - 試験日に守るべきルール	12
3.3 - CISA試験の管理運営	14
セクションIV - 試験後	15
4.1 - 試験の採点	15
4.2 - 再受験ポリシー	17
4.3 - 試験後のフィードバック	17
4.4 - 認定	18

受験者ガイド概要

このガイドには、**ISACA試験**について、[スケジュール](#)、[受験資格](#)、[試験日に守るべきルール](#)など、受験申し込み前に知っておくべき重要な情報が掲載されています。

このガイドではISACA認定試験受験に必要なすべての情報を、以下の4つの主要なセクションで説明しています。

- 公認情報システム監査人(CISA)
- 公認情報システムリスク管理者(CRISC)
- 公認情報セキュリティマネージャー(CISM)
- 公認ITガバナンス専門家(CGEIT)
- 公認データプライバシーエンジニア(CDPSE)



はじめに



試験の登録と予約



試験準備



試験後

- ISACA 概要
- 倫理規定
- 認定プログラムの概要

- 登録する前に
- 登録
- スケジュールリング
- 予約変更

- 受験準備
- 試験日の規則
- 試験の管理運営

- スコア
- 再受験ポリシー
- フィードバック
- 認定

セクションI - はじめに

セクション	トピック	ページ
1.1	ISACAの概要と倫理規範	2
1.2	ISACA認定プログラムの概要	4

1.1 - ISACAの概要と倫理規範

ISACAは、個人や事業体が技術のポジティブな可能性を達成できるよう支援する国際的な団体です。



ISACAは専門家に知識、資格、教育、コミュニティを提供し、専門家のキャリアを促進し、組織を変革します。

ISACAは、情報およびサイバーセキュリティ、ガバナンス、品質保証、リスクおよびイノベーションの分野で活躍する46万人のプロフェッショナル会員のほか、外郭団体の[CMMI® Institute](#)の専門的技術も活用し、テクノロジー主導によるイノベーションの推進を支援しています。

世界188か国以上に展開し、全世界の支部数は220を超えており、アメリカと中国に事業所を構えています。

ISACAの製品とサービス

[会員](#)

ISACA会員になると[会員だけの特典](#)を利用でき、認定試験、セミナー、受験対策資料など、ISACA製品の割引が受けられます。

[リソース](#)

最新の研究、ガイダンス、標準についてのエキスパートの意見、ベストプラクティス、最新トレンドをご覧ください。

[トレーニング](#)

世界的に評価の高いISACAのトレーニングと認定プログラムは、自信を高め、職場の改革とキャリアアップに役立ちます。

[COBIT 2019®](#)

事業体のITガバナンスの調整と規模の最適化に役立つ、ISACAの実績あるフレームワーク。

認定プログラム

- [COBIT認定](#)
- [ITリスク基礎](#)
- [クラウド監査知識認定](#)
- [サイバーセキュリティ監査](#)

認定プログラム



IT監査、セキュリティおよびコントロールにおける経験とノウハウを実証し、キャリアアップと昇給を促進します。



事業体のIS/ITリスク管理およびコントロールの分野でキャリアを伸ばし、昇進と昇給を促進します。



上級管理職へのキャリアアップを促し、戦略的観点から事業体に貢献します。



事業体の戦略的ガバナンスにおける専門知識を実証し、経営幹部レベルで存在感を示します。



プライバシーの専門家として計画的にプライバシーを導入する能力を評価します。



パフォーマンスを根拠とした資格がどのようにスキルを伸ばし、キャリアを成功へ導くかを確認します。



新技術の最前線を迅速に理解して使用できるようにします。

倫理規範

ISACAでは会員および（または）資格保有者のプロフェッショナルまたは個人としての行動規範となる[職業倫理規範](#)を定めています。

- 会員および認定された者は、ISACAの倫理規範を遵守する必要があります。
- これに準拠しない場合は調査が行われ、試験スコアの無効化や認定資格の取り消しなどの懲戒処分となる場合があります。

1.2 - ISACA認定プログラムの概要

以下の情報は、このガイドで扱う5つのISACA認定の概要を示しています。

説明	 CISA Certified Information Systems Auditor An ISACA® Certification	 CRISC Certified in Risk and Information Systems Control An ISACA® Certification	 CISM Certified Information Security Manager An ISACA® Certification	 CGEIT Certified in the Governance of Enterprise IT An ISACA® Certification	 CDPSE Certified Data Privacy Solutions Engineer An ISACA® Certification
	IT/情報システム監査人、コントロール、保証および情報セキュリティの専門家向け。	ITリスクマネジメント、そして、情報システムコントロールの設計、導入、監視、保守の専門家向け。	事業体の情報セキュリティ機能を管理、設計、監督、評価する担当者向け。	認定は、事業体のITガバナンスの原則と実践に関する知識を持ち、実務を行ってきた幅広い専門家の資格です。	技術レベルにおけるデータプライバシーのガバナンス、アーキテクチャ、ライフサイクルの経験者向け。
必要な実務経験	情報システム/IT監査、コントロール、保証またはセキュリティで5年以上の実務経験を持つこと。 最大3年間の実務経験の免除の適用が可能です。	ITリスクマネジメントと情報システムコントロールで3年以上の実務経験を持つこと。 適用可能な免除期間や代替条件はありません。	情報セキュリティ管理で5年以上の実務経験を持つこと。 最大2年間の実務経験の免除の適用が可能です。	アドバイザーや監督の役割、または事業体でのIT関連のガバナンスのサポートで5年以上の実務経験を持つこと。 適用可能な免除期間や代替条件はありません。	データプライバシーガバナンス、プライバシーアーキテクチャ、および（または）データライフサイクル作業における3年以上の実務経験。 適用可能な免除期間や代替条件はありません。
ドメイン(%)	ドメイン1 - 情報システムの監査プロセス(18%) ドメイン2 - ITガバナンスとITマネジメント(18%) ドメイン3 - 情報システムの調達、開発、導入(12%) ドメイン4 - 情報システムの運用とビジネスレジリエンス(26%) ドメイン5 - 情報資産の保護(26%)	ドメイン1 - ガバナンス(26%) ドメイン2 - ITリスクアセスメント(20%) ドメイン3 - リスク対応および報告(32%) ドメイン4 - 情報技術およびセキュリティ(22%)	ドメイン1 - 情報セキュリティガバナンス(17%) ドメイン2 - 情報セキュリティリスク管理(20%) ドメイン3 - 情報セキュリティプログラム(33%) ドメイン4 - インシデント管理(30%)	ドメイン1 - 事業体のITガバナンス(40%) ドメイン2 - ITリソース(15%) ドメイン3 - 利益の実現(26%) ドメイン4 - リスク最適化(19%)	ドメイン1 - プライバシーガバナンス(34%) ドメイン2 - プライバシーアーキテクチャ(36%) ドメイン3 - データライフサイクル(30%)
試験言語	中国語（簡体字） 英語 ドイツ語 韓国語 フランス語 日本語 スペイン語	中国語（簡体字） 英語 スペイン語 韓国語	中国語（簡体字） 英語 日本語 スペイン語	中国語（簡体字） 英語	中国語（簡体字） 英語 スペイン語 ドイツ語
所要時間	4時間（240分）、 150問の多肢選択方式の問題	4時間（240分）、 150問の多肢選択方式の問題	4時間（240分）、 150問の多肢選択方式の問題	4時間（240分）、 150問の多肢選択方式の問題	3.5時間（210分）、 120問の多肢選択方式の問題

受験料

受験料は、試験登録時の会員ステータスに応じて異なります。

- ISACA会員 : US \$575
- ISACA非会員 : US \$760

受験料は払い戻し不可で譲渡できません。

リソース

以下は、ISACA認定試験について、受験者の役に立つリンクとリソースです。

CISA資格

- [CISA試験内容の概要](#)
- [CISA試験への準備](#)
- [CISA試験に関する情報](#)
- [CISAアプリケーション要件](#)
- [CISA維持要件](#)

CRISC資格

- [CRISC試験内容の概要](#)
- [CRISC試験への準備](#)
- [CRISC試験に関する情報](#)
- [CRISCアプリケーション要件](#)
- [CRISC維持要件](#)

CISM 資格

- [CISM試験内容の概要](#)
- [CISM試験への準備](#)
- [CISM試験に関する情報](#)
- [CISMアプリケーション要件](#)
- [CISM保維持要件](#)

CGEIT資格

- [CGEIT試験内容の概要](#)
- [CGEIT試験への準備](#)
- [CGEIT試験に関する情報](#)
- [CGEIT アプリケーション要件](#)
- [CGEIT維持要件](#)

CDPSE資格

- [CDPSE試験内容の概要](#)
- [CDPSE試験への準備](#)
- [CDPSE 試験に関する情報](#)
- [CDPSE アプリケーション要件](#)
- [CDPSE維持要件](#)

セクションII - 試験の登録と予約

セクション	トピック	ページ
2.1	登録する前に	6
2.2	試験に登録する	6
2.3	受験予約	9

2.1 - 登録する前に

ISACA認定試験はコンピュータを使用し、世界各地の認可されたPSI試験会場で実施され、試験官付リモート受験も可能です。試験登録は継続するため、受験者はいつでも登録でき制限はありません。受験者は受験料を支払って48時間後から試験の予約を行えます。

登録すると、受験者は12か月間の受験資格が得られます。つまり、登録日から12か月間（365日）、試験を受けることができます。試験の予約と受験の前に、受験料をすべて支払う必要があることにご注意ください。

受験のために追加の時間が必要な場合、6か月間の試験延長期間を\$75で購入できます。受験資格延長オプションは、受験資格が期限切れになる90日前にダッシュボードに表示されます。試験の予約後に受験資格を延長するには、受験日の48時間以上前に受験をキャンセルしなければなりません。1つの試験で延長は最大2回です。



予約した試験を受けなかったり、試験の時間に15分以上遅れたりするなど、12か月間の受験可能期間に試験を受けなかった場合、受験資格がなくなり、受験料は払い戻しできません。

2.2 - 試験に登録する

以下の手順に従い、オンラインで試験登録を行ってください。

ステップ	アクション
1.	認定試験を選択します： CISA CRISC CISM CGEIT CDPSE
2.	ログインするか、アカウントを作成します。 注：アカウント作成時の氏名は、試験日に提示する政府発行の身分証明書に記載の氏名と同じになるようにしてください。有効な身分証明書については、試験日に守るべきルールを参照してください。 試験に登録する前に、お近くのPSI試験会場に空きがあることを確認するか、リモート受験用の対応デバイスを用意する必要があります。デバイスをテストするには、この互換性チェックを完了してください。会社のデバイスを使用して受験する場合、IT部門の支援または承認が必要になる場合があります。
3.	登録プロセスを完了します。

試験登録プロセス中に、ISACAの[利用規約の第16項「試験」](#)への同意を求められます。これには本受験ガイドに記載の試験の管理運営、認定基準、試験結果発表が含まれます。

オンライン登録の手順については、[登録方法ガイド](#)を参照してください。



受験料をすべて支払うまで、試験の予約はできません。受験料は払い戻し不可で譲渡できません。

登録の確認

試験登録および支払の後、1営業日以内に[予約通知](#)メールが届きます。

予約通知メールには、[試験予約のスケジュール](#)情報が表示されます。

特別措置受験への登録

特別な試験措置を受けるには、登録手続き時に申請し、試験を予約する前にISACAの承認を得なければなりません。

特別措置受験をご希望の方は、次の手順に従ってください。

ステップ	アクション
1.	試験登録プロセスで、特別措置申請フィールドに印をつけてください。
2.	特別措置申請書 を印刷します。
3.	ISACA特別措置申請書に必要事項を記入します。 <i>注：申請書は受験者およびその担当医療専門家が記入する必要があります。</i>
4.	support.isaca.org からISACAにフォームを送信してください。



特別措置の申請は、受験料をすべて払い終えるまで、検討されません。申請はすべて、ご希望の試験日の4週間前までにISACAに送付する必要があります、その1回の試験にのみ有効です。

登録の変更

受験者が申請する3つの共通の登録変更があります。以下の表を参照してください。

変更タイプ	ステップ
氏名	 ISACAアカウントに登録した名前は、試験のチェックインに使用するIDに記載する名前に一致しなければなりません。 1. www.isaca.org/myisacaにログインします。 2. 赤い「MY ISACA PROFILE（マイISACAプロフィール）」ボタンをクリックします。 3. 必要であれば変更を行います。 4. 「Save（保存）」をクリックします。
試験言語	1. https://www.isaca.org/myisaca/certificationsにログインします。 2. 「Re-Schedule or Cancel Exam（予約変更または試験取消）」をクリックして、PSIの予約ページに進みます。 3. 画面上の指示に従って試験予約をスケジュールします。予約ガイドに予約および予約変更に関する説明があります。 注：試験言語を変更する必要がある場合は、試験予約も変更する必要があります。詳細については、予約変更をご覧ください。
試験タイプ	ISACAサポートに電子メール(support.isaca.org)ですぐにお問い合わせください。



すべての変更申請は、受験を予約した試験の48時間前までに完了する必要があります。

2.3 - 受験予約

受験資格

試験を予約・受験するには、受験資格が必要です。受験資格は、試験登録により得られ、12か月間（365日間）有効です。

試験を予約して受ける前に、試験登録と支払いを済ませる必要があります。

受験料は払い戻し不可で譲渡もできません。



12か月間の受験資格期間中に受験予約して受験しないと、受験料を放棄することになります。
資格の延長は認められません。

受験予約

受験予約を行うには、5つの重要なステップがあります。受験予約を行う前に、支払いを済ませる必要があります。

ステップ	アクション
1.	ISACAアカウント にログインします。
2.	「 Certification & CPE Management （認定およびCPE管理）」をクリックします。
3.	「 Schedule Your Exam （受験を予約）」または「 Visit Exam Website （試験ウェブサイトにアクセス）」をクリックすると、PSIダッシュボードが開き、受験の予約を行えます。
4.	PSIダッシュボードで「 Schedule Exam （受験予約）」をクリックします。
5.	予約ガイド に記載される手順に従ってください。

受験予約の確認を通知する予約確認メールが、no-reply@psiexams.comから届きます。予約に関する詳細は[予約ガイド](#)をご覧ください。

試験予約は90日前にならないと行うことはできません。90日より前の受験可能な試験会場または試験日が分からない場合は、希望する試験日より近い日付を遡って確認してください。

それでも希望する受験可能な試験会場または試験日が分からない場合は、[ISACAアカウント](#)にログインして「**Certification & CPE Management**（認定およびCPE管理）」タブをクリックし、受験資格が期限切れになっていないことを確認してください。

予約変更

当初予約した試験から48時間以上前であれば、同じ受験資格期間内で予約を変更できます。



予約した試験から48時間以内の場合は、受験する必要があります。受験しないと受験料を放棄することになります。予約変更を行うには：[ISACAアカウント](#)にログインし、[予約ガイド](#)の予約変更手順に従ってください。

試験会場の緊急閉鎖

悪天候または緊急事態により、予定された試験を中止せざるを得ない場合があります。この場合、PSIは電話または電子メールにて受験者への連絡を試みます。ただしISACAは、受験者がwww.psiexams.comをご覧ください。試験会場が閉鎖されていないか確認されることをお勧めします。会場が閉鎖された場合、その試験は再度日程が組まれ、追加料金はかかりません。

セクションIII - 試験準備

試験準備セクションでは、試験準備のプロセス、試験日の規則、試験の実施方法について説明します。

セクション	トピック	ページ
3.1	試験の準備をする	10
3.2	試験日に守るべきルール	12
3.3	CISA試験の管理運営	14

3.1 - 試験の準備をする

試験準備

ISACAの多様な[試験準備](#)リソースには、グループトレーニング、自分のペースで進められるトレーニング、そして各国語の試験教材があり、認定試験の準備に役立てられます。

試験問題

試験の問題は、実務知識と、一般概念および基準の応用力を試験することを目的に作成されています。すべての問題に、1つの解答があります。

- 各問題は、問題文と解答の選択肢で構成されています。
- 正しい解答あるいは最適な解答を選択肢から選んでください。
- 試験問題は、質問または記述の穴埋めの形式になります。

シナリオが記載されていることもあります。通常、このような問題には状況の説明があり、受験者は提供された情報に基づいて2つ以上の問題に解答します。

試験問題の種類とその作成方法の詳細については、[項目記述要件およびリソース](#)を参照してください。

試験のヒント

- 各問題を慎重に読んでください。試験の問題では、条件により、例えば最も有りうる、または最も当てはまる適切な解答を選択しなければならないこともあります。
- 各質問を注意深く読み、誤りであると分かっている選択肢を消去し、もっとも適切な選択肢を選んでください。
- 試験端末へのログイン後、試験開始前に、試験の受け方について説明があります。重要な情報を聞き逃さないように、注意して説明を聞いてください。
- すべての質問に解答するようにしてください。
- 不正解であってもペナルティはありません。成績は正解した総問題数でのみ計算されるので、未解答の問題がないようにしてください。
- 時間を管理してください。全問解答できるように、ペースを調整してください。
CISA/CRISC/CISM/CGEIT試験の所要時間は4時間、CDPSE試験の所要時間は3.5時間です。

会場受験を予約した場合の試験

試験会場で受験することを予約した場合、以下を行い、試験日の前に準備ができていることを確認してください。

- 試験会場の住所を探し、開始時刻を確認します。
- 試験会場への経路を地図上で確認します。
- 試験の開始時間の30分前に到着するように計画します。
- 所持品を保管する方法を計画します。

* 詳細は、[試験日に守るべきルール](#)を参照してください。

試験官付リモート試験

試験官付リモート試験に関する詳細は、[リモート試験官ガイド](#)をダウンロードしてください。デバイスをテストするには、試験日の前にこの[互換性チェック](#)を完了しておいてください。



会社のデバイスを使用して受験する場合、IT部門の支援または承認を得た上でセキュアブラウザをダウンロードする必要がある場合があります。

* 詳細は、[試験日に守るべきルール](#)を参照してください。

身分証明書の提示

試験会場に入場したり、オンライン試験のチェックインを行ったりするには、有効な身分証明書（ID）を提示する必要があります。有効な身分証明書は、受験者の名前（予約通知メールに表示された名前）および受験者の写真を含んでいる、現行の政府発行の有効な身分証明書でなければなりません。

- 受験者の名前（ISACAからの予約通知メールに表示された名前）。IDに記載された姓と名が、試験に登録した名前と一致しなければなりません。一致しない場合は、受験が許可されない場合があります。登録の際にミドルネームは不要です。
- 受験者の署名（日本政府発行の運転免許証の場合、署名なしでも構いません）
- 受験者の写真

すべての情報は、単一の身分証明書によって証明されなければなりません（コピーや手描きは認められません）。



有効な身分証明書を持たない受験者は受験することができず、受験料は払い戻しされません。

有効な身分証明書

有効な身分証明書には以下があります。

- 運転免許証
- 州の身分証明書（運転免許証以外）
- パスポート
- パスポートカード
- グリーンカード
- 外国人登録証明書
- 永住者カード
- 国のIDカード



試験会場は確認のため、追加の身分証明書の提示を求める権利を有します。受験者の身元に関して疑いがある場合、受験は拒否され、ISACAに通知されます。これは無連絡欠席と見なされ、受験料は没収されます。試験をやりなおすには、再登録して受験料をもう一度支払う必要があります。

3.2 - 試験日に守るべきルール

試験日に守るべきルールとして、試験中に認められるものに関するガイドラインが提供されます。

試験日に守るべきルールは、PSI試験会場および試験官付リモート試験で実施される試験に適用され

ます。任意のISACA試験に登録する際、受験者は[利用規約の第16項「試験」](#)に同意しなければなりません。かかる利用規約に従い、ISACAはいずれかの認められない行動が確認された場合に試験スコアを無効にする権利を有します。

禁止品

試験中は、他のすべての物品および教材を完全に自分の身の回りから排除しなければなりません。試験中は、試験官が受験の様子を監督しやすいように、受験者は画面の方を向いている必要があります。

試験中に以下のものを持ち込むことは禁止されます。

- 参考資料、学習教材、白紙の用紙、メモ、メモ帳、辞書、またはその他の補助器具
- 計算機
- マルチモニター
- あらゆる種類の通信、監視用または録画用機器（以下を含むがこれらに限定されない）：
 - 携帯電話（試験官付リモート試験ではミラーチェックのために許可される）、電子機器、または録画用機器
 - タブレット
 - スマートウォッチ/スマートグラス
 - ヘッドホン/耳栓
- ハンドバッグ、財布、またはブリーフケースを含むあらゆる種類の手荷物
- 武器
- 煙草製品または電子たばこ
- 飲食品（水を含む。会場受験および試験官付リモート試験の両方に適用）
- 付添人



試験中に受験者がこのような通信用、監視用、または記録用機器を持っていることが確認された場合、受験は無効となり、直ちに試験会場から退去するように求められます。試験のいかなる部分（試験結果画面を含む）も、そのスクリーンショットまたは写真を撮影することは禁じられています。

私物の保管

試験会場に持ち込む所持品は、ロッカー等の指定された場所に保管するようにします。試験を完了して提出するまで、所持品にアクセスすることはできません。

認められない行動

[利用規約の第16項「試験」](#)に基づき、以下の行為は禁止されます。

- 迷惑行為
- 試験中にメモ、紙片、その他の補助器具や、許可されていない学習教材を用いて他の受験者を助けたり、助けられたりすること
- 私語、大声で問題文を読み上げること、無言で問題文を読みながら唇を動かすこと
- 試験内容をコピー、撮影、録画、記憶またはその他の手段で保持もしくは再現しようと試みることで、あるいは何らかの目的で他者が試験内容を保持、再現または再構築することを支援する行為
- 代理受験をしようとする
- 通信用、監視用、または記録用機器（これには、携帯電話、タブレット、スマートグラス、スマートウォッチ、携帯端末などが含まれますが、この限りではありません）を試験会場に持ち込むこと
- 試験前、試験中または試験後に、口頭、書面、またはその他の情報伝達手段（インターネット、電子メール、またはオンラインフォーラムなど）を用いて、直接的または間接的に、任意の人物または組織に対し、試験内容を販売、ライセンス許諾、配布、交換、譲渡、共有、コメント、開示または伝達すること
- 許可を得ずに試験会場を離れること（このような状態で受験者が会場や部屋を離れた場合は、再び試験会場または部屋に戻ることはできません）。試験管の許可を得た上で、10分程度の休憩を2回入れることは許可されます。許可された休憩中、試験は一時中断となりますが、タイマーは止めません。
- 試験終了前に、所持品保管場所の私物に近づくこと。

個人的にやむを得ない事情

個人的にやむを得ない原因で予約した試験に出席できない受験者は、予約を変更することが可能であり、受験料を放棄する必要はありません。

ステップ	アクション
------	-------

1.	予約の72時間以内にPSI*に連絡します。
2.	欠席の理由を確認するためにPSIに文書を提出します。

***PSIの連絡先情報：**

ステップ	アクション
1.	https://www.psionline.com/test-takers/candidate-support-numbers/ にアクセスします。
2.	検索フィールドに「ISACA」と入力します。
3.	利用可能な連絡先電話番号の一覧を確認して選択します。

個人的にやむを得ない事情の例	必要な文書
持病	医師の診断書、緊急治療室への入室許可など。 • 免許を持つ医師による署名と受診の日付の記載が必要となります。 • 医師免許を持つ医師による連絡先情報も記載する必要があります。 • 病気や緊急の事情の詳細は記入する必要はありませんが、受験者が試験を受けるべきではないことを医師が示す必要があります。
直近の家族の死亡： • 配偶者 • 子供/扶養家族 • 親 • 祖父母 • 兄弟姉妹	死亡した日付と、死亡者の氏名、死亡者との関係を記入する必要があります。
交通事故	警察の調書、整備業者またはレッカー業者の領収書（日付と連絡先情報を含む）が必要です。



要請が拒否された場合、受験者は再度申込みを行い、受験料を全額支払う必要があります。

試験エリアを離れる場合

受験者が試験会場を離れる際、あるいは試験官付リモート試験の場合は指定された試験エリアを離れる際は、試験官の許可を得る必要があります。許可なく試験会場または試験エリアを離れると、試験終了となる場合があります。試験官の許可を得た上で、2回の休憩が認められます。許可された休憩中、試験は一時中断となりますが、タイマーは止めません。

離席の理由：	行き先：
緊急事態	- 試験は一時的に停止されます。 - 緊急時であると確認されたら、試験は終了します。
小用	- チェックアウトしてチェックインする必要があります。 - 離席中、試験時間を止めたり、時間を延長したりすることはできません。 1回ごとの休憩時間は10分以内とします。

結果

利用規約または試験日の規則に違反したり、何らかの不正行為を行ったりした場合、以下の処分の対象となります。

- 失格または資格剥奪
- 試験の無効化
- ISACA会員資格と、現在取得しているすべての認定の取り消し
- ISACA試験受験の禁止

3.3 - CISA試験の管理運営

PSIの試験を行う場所は、試験会場またはオンラインリモート試験（監督付）のいずれかです。

PSI試験会場



あなたの試験は、他試験の受験者と一緒に、同室内で試験管理される場合があります。ある程度のノイズが予想され、正常とみなされることに注意してください。

[PSI試験会場体験のビデオ](#)はこちらをご覧ください。

オンラインリモート試験監督

ISACAでは、オンラインリモート試験監督サービスによる在宅受験も提供しています。この提供サービスを利用して受験する前に、[リモート試験監督ガイド](#)をご確認ください。

ISACAでは、ルームスキャンの実施後、各試験のミラーチェックを義務付けています。ミラーチェックは、ルームスキャン中に内蔵のウェブカメラには映らなかった死角を試験官に見せるために行います。ミラーチェックを完了するためには、携帯ミラーまたは携帯電話を使用できます。ミラーチェック中、受験者はウェブカメラの上にミラーを固定し、モニター/ノートPC画面、キーボード、およびモニター/ノートPC画面の四隅を表示する必要があります。携帯電話を使用する場合、ミラーチェックの完了後、試験に指定された部屋の中の手が届かない場所に設置する必要があります。

[PSIオンラインリモート試験監督体験のビデオ](#)はこちらをご覧ください。

セクションIV - 試験後

試験後セクションでは、試験の採点と認定申請について説明します。

セクション	トピック	ページ
4.1	試験の採点	15
4.2	再受験ポリシー	17
4.3	試験後のフィードバック	17
4.4	認定	18

4.1 - 試験の採点

得点の通知期日

試験の完了直後に、暫定的な試験結果を画面上で確認することができます。試験のいかなる部分（試験結果画面を含む）も、そのスクリーンショットまたは写真を撮影することは禁じられています。公式得点は電子メールで送信され、10営業日以内にオンラインで入手できます。合格すると、認定の申請方法の詳細が表示されます。

1. メール通知：プロフィールに記載されているメールアドレスに送信されます。
2. オンライン結果：「MyISACA」>「Certifications & CPE Management（認定およびCPE管理）」ページで確認できます。
3. 試験の得点は、電話またはFAXで提供されません。
4. 問題別の結果を提供することはできません。

採点基準

受験者の得点は段階評価スコアで通知されます。段階評価スコアは受験者の試験における実際の得点を共通の基準に変換したものです。段階評価の目的は、試験の異なるバージョン間で、結果を同じ基準で報告できるようにすることです。これによって、異なるバージョンを比較でき公平性が保たれます。ISACAは評価スコアに200～800点の共通基準を使用しています。ISACA試験は、採点対象の試験問題と予備試験問題から構成されます。予備試験問題は試験の採点には使用されません。最低スコア、合格スコア、最高スコアについては下記をご確認ください。

- 800点は、すべての問題に正しく解答した完璧なスコアを表します。
- 200点は最低スコアで、正しく解答した問題数が最少であったことを示します。
- 試験に合格するための最低合格基準としては、450点以上のスコアを獲得する必要があります。
- ドメインレベルごとの結果は参考用です。試験スコアは、ドメインに関係なく、正解した試験問題の総数に基づきます。ドメインごとの比率は、そのドメインの内容を反映する試験問題の割合を示すものであり、試験スコアの計算には使用されません。
- 合格点を得た受験者は、他の要件がすべて満たされていれば、これにより資格申請することができます（詳細については「[認定資格を取得するには](#)」のセクションを参照してください）。

再採点の申請

採点手続きの完全性と妥当性を確信していますが、受験者が希望する場合、再採点を申請することができます。再採点はPSIが行います。

試験結果が公開されてから30日以内に、[サポートページ](#)から書面による再採点申請を提出する必要があります。

- 30日を過ぎると、採点のやり直しの要請は受け付けられません。
- すべての請求には、受験者の名前、ISACA ID番号およびメールアドレスが必要です。
- 請求の際には、1回ごとにUS \$75の手数料がかかります。

4.2 - 再受験ポリシー

ISACAの認定試験の整合性を保護するため、ISACAは以下の再受験ポリシーを導入しました。

1. 受験者は12か月の期間内に、合格するまで4回試験を受けることができます。1回目の受験で合格しなかった受験者は、1回目の試験から12か月以内に、全部であと3回再試験を受けることができます。受験者は受験回ごとに登録料を全額支払わなければなりません。

まとめると：

受験し、不合格になった後（1回目の受験）：

- 再受験1（2回目の受験）：1回目の受験から30日間あける必要があります。
 - 再受験2（3回目の受験）：2回目の受験から90日間あける必要があります。
 - 再受験3（4回目の受験）：3回目の受験から90日間あける必要があります。
2. 試験に合格した受験者は、5年間の申請期間の間、同じ試験を受験できません。
 3. 認定取得者は、認定を保持している間、同じ認定試験を受けることができません。

4.3 - 試験後のフィードバック

試験完了後、試験後の調査でフィードバックを提供する機会が与えられます。皆様からのフィードバックは、試験体験と試験の品質を向上させるために使用します。

試験の管理運営に関する懸念事項

ISACA (support.isaca.org)に試験終了後48時間以内に連絡して、試験日に関する問題、試験会場の状況、試験内容を含む、試験の運営管理に関するコメントや懸念事項を提出することができます。

ステップ	アクション
1.	ISACAサポート に連絡します。
2.	連絡する際には、以下の情報を提供してください。 ● ISACA ID番号 ● 試験会場 ● 試験の日時 ● 具体的な問題に関する詳細な情報
3.	ISACAは正式なスコアレポートの発表前に、試験日の問題と会場の懸念事項に関するコメントを確認します。



ISACAは、問題の更新に基づいてスコアを再発行することはありません。各分野の専門家は、将来の試験を改善するためにこれらのコメントを使用します。

4.4 - 認定

認定資格を取得するには

ISACA認定試験を受験して合格することが、認定資格取得の最初のステップです。認定資格を取得するには、まず以下の要件を満たす必要があります。

ステップ	アクション
1.	認定試験に合格します。
2.	US \$50の申請手数料を支払います。
3.	実務経験の要件を証明するための申請書を提出します。
4.	職業倫理規範を遵守します。
5.	継続的専門職教育ポリシーを遵守します。

受験者は、合格後5年以内に資格申請をしなければなりません。

認定資格取得に関する詳細については、下記でその他のリソースをご覧ください。

1. 認定試験合格：[CISA](#) | [CISM](#) | [CGEIT](#) | [CRISC](#) | [CDPSE](#)
2. US \$50の申請手数料を支払い：[CISA](#) | [CISM](#) | [CGEIT](#) | [CRISC](#) | [CDPSE](#)
3. 認定申請書の提出：[CISA](#) | [CISM](#) | [CGEIT](#) | [CRISC](#) | [CDPSE](#)
4. [ISACA職業倫理規範](#)、[利用規約](#)、[プライバシーポリシー](#)の遵守
5. 継続的専門職教育(CPE)ポリシーの遵守：[CISA](#) | [CISM](#) | [CGEIT](#) | [CRISC](#) | [CDPSE](#)
6. [情報システム監査基準](#)の遵守（CISA のみ）

認定資格取得をお勧めする理由

ISACA認定は、世界中で受け入れられ認識されています。ISACA認定は、試験の合格と、仕事の功績、そして学習経験を組み合わせることで受験者の信頼性を高めます。これはキャリアを進む上で必要なことです。認定資格を取得すると、事業体の価値を高める資質を持っていることを雇用主に証明できます。実際、世界中で多くの企業や政府機関でISACA認定資格が求められたり、認識されたりしています。

独立した調査では、ISACAの認定はIT専門家が取得できる中でも最も見返りが大きく影響力の大きいIT認定資格とされています。ISACA認定の取得と維持

- 潜在的な能力の向上
- 採用プロセスへの組み込み
- 専門家としての信頼性と評価を強化

ISO/IEC 17024:2012準拠

- ANSI（American National Standards Institute; 米国規格協会）は、CISA、CRISC、CISM、およびCGEIT認定プログラムに対してISO/IEC 17024 : 2012（人材に対する認証システムを運営する団体のための一般的要件）の認証を与えています。
- ANSIによる認定は、ISACAの手順に先入観がなく、公正で、コンセンサスを得ている適正な手順に関するANSIの必要要件を満たしていることを意味しています。
- この認定を受けることにより、ISACAは、CISA、CRISC、CISMおよびCGEIT資格保持者に世界中で素晴らしい職業的機会がもたらされると考えております。

ANSI認定プログラム

個人認定 0694

ISO/IEC 17024

CISA、CISM、CGEIT、およびCRISCプログラムの認定

ISO/IEC 17024:2012の認証を更新

- 非営利民間団体であるANSIは、サードパーティの製品、システム、および専門家として機能を果たすために、他の組織を認定しています。
- ISO/IEC 17024は、特定の要件に対して個人を認定する組織が従うべき必要条件を明示している。

ANSIでは、ISO/IEC 17024を「資格認証コミュニティの世界標準化の促進、各国間の流動性の向上、公共の安全性の強化および消費者の保護の推進に大きな役割を担っている」として評しています。